



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
 コード番号 1446 URL <https://www.candeal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (管理管掌) (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701 (代)
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 2023年6月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	6,344	8.7	338	59.4	333	85.2	181	190.0
2022年9月期第2四半期	5,836	△1.5	212	26.1	179	11.6	62	1.2

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 181百万円(190.0%) 2022年9月期第2四半期 62百万円(1.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	19.76	19.72
2022年9月期第2四半期	6.49	6.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	6,469	2,685	41.5
2022年9月期	6,480	2,516	38.8

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 2,685百万円 2022年9月期 2,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2023年9月期	—	3.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,108	7.5	408	21.2	373	22.8	135	28.6	14.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期2Q	10,734,200株	2022年9月期	10,734,200株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	1,539,100株	2022年9月期	1,570,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期2Q	9,171,115株	2022年9月期2Q	9,634,529株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる社会活動の制限が徐々に緩和され個人消費は緩やかに持ち直しており、またインバウンド需要も本格的に回復の兆しを見せ始めた一方で、ウクライナ情勢や円安などに起因する資源・エネルギー価格のさらなる上昇や、金融資本市場の変動などの景気下押しリスクも多く引き続き留意が必要な状況にあります。

建設業界としては、コロナ禍からの経済回復に伴う就業機会の増加や、各企業のベースアップに拍車がかかったことで、企業間での人材獲得競争はより激化し慢性的な人手不足が進行している現状に加えて、資材・エネルギー価格高騰の圧力もあり、以前にも増して厳しい経営環境に直面しております。他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきまして、国土交通省発表による2022年4月～2023年3月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比92.3%、分譲マンションが前年同期比110.8%、住宅市場全体としては前年同期比99.4%と前年同期並みで推移しており、商環境に関しましては、インバウンドや個人消費回復により景況感は良好に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念にもとづき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながら、2021年に新しく閣議決定されました「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。

資材・エネルギー価格の高騰、人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、社会活動の緩やかな回復、また営業施策の奏功や業務提携効果により、当社グループのサービス提供機会は増加し、売上高は復調傾向を示し、売上総利益の増加等により営業利益は大幅に増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,344,993千円（前年同期比108.7%）、営業利益は338,795千円（前年同期比159.4%）、経常利益は333,136千円（前年同期比185.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は181,196千円（前年同期比290.0%）となりました。なお、当社グループでは組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に96,111千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は429,247千円（前年同期比155.5%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は277,307千円（前年同期比174.8%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりであります。

① リペアサービス

当第2四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は2,227,173千円（前年同期比103.9%）となりました。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心にリペアを提供しておりますが、住宅市場の需要を積極的に取り入れたことで、同社のリペアサービスの売上高は1,817,144千円（前年同期比106.8%）と回復基調で推移いたしました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心にリペアを提供しておりますが、技術者不足の影響で、同社のリペアサービスの売上高は410,029千円（前年同期比92.6%）となりました。

② 住環境向け建築サービス

当第2四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は1,511,339千円（前年同期比108.7%）となりました。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心に定期点検、検査、小型修繕、各種施工、リコール対応を提供しておりますが、定期点検数の増加や単価上昇、リコール対応の新規大型案件獲得により、同社の住環境向け建築サービスの売上高は1,205,387千円（前年同期比112.9%）となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心に検査を提供しておりますが、技術者不足の影響で、同社の住環境向け建築サービスの売上高は305,951千円（前年同期比94.9%）となりました。

③ 商環境向け建築サービス

当第2四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は2,079,791千円（前年同期比108.8%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設等の内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境の市

場回復に伴うホテルや商業施設などの内装工事需要などを取り込んだ結果、増収となりました。

④ 商材販売

当第2四半期連結累計期間における商材販売の売上高は309,257千円（前年同期比99.7%）となりました。商材販売は主にリペア材料やメンテナンス材料を販売しておりますが、前年同期並みに推移いたしました。

⑤ 抗ウイルス抗菌サービス

当第2四半期連結累計期間における抗ウイルス抗菌サービスの売上高は217,430千円（前年同期比269.7%）となりました。

抗ウイルス抗菌サービスは室内の壁面・天井、水まわり、床などの各種コーティングサービスを提供しておりますが、業務提携効果や家電量販店などとの協業により水まわりコーティング案件が好調に推移し、増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は6,469,597千円となり、前連結会計年度末に比べ10,801千円の減少となりました。

流動資産は3,790,883千円となり、前連結会計年度末に比べ41,302千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が334,606千円減少したこと、受取手形及び売掛金が352,129千円増加したこと、商品及び製品が3,092千円減少したこと、その他流動資産が27,720千円増加したことなどによります。

固定資産は2,678,713千円となり、前連結会計年度末に比べ52,104千円の減少となりました。これは、主にのれんが96,111千円減少したこと、繰延税金資産が39,167千円増加したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,783,779千円となり、前連結会計年度末に比べ179,768千円の減少となりました。

流動負債は2,700,774千円となり、前連結会計年度末に比べ94,794千円の減少となりました。これは、主に買掛金が124,666千円増加したこと、短期借入金が449,998千円減少したこと、賞与引当金が80,973千円増加したこと、その他流動負債が89,574千円増加したことなどによります。

固定負債は1,083,005千円となり、前連結会計年度末に比べ84,974千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が84,998千円減少したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,685,817千円となり、前連結会計年度末に比べ168,966千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が153,703千円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は41.5%（前連結会計年度末比2.7ポイント上昇）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は1,557,805千円となり、前連結会計年度末に比べ334,606千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、230,528千円（前年同期は325,586千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益333,136千円を計上したこと、のれん償却額96,111千円、売上債権が352,129千円増加したこと、仕入債務が124,666千円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13,175千円（前年同期は1,962千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出16,508千円、有形固定資産の売却による収入3,940千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、551,960千円（前年同期は797,457千円の支出）となりました。これは主に、

短期借入金の純減額449,998千円、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出374,998千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2022年11月11日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,892,412	1,557,805
受取手形及び売掛金	1,555,662	1,907,791
商品及び製品	128,955	125,863
原材料及び貯蔵品	31,728	29,168
その他	147,266	174,987
貸倒引当金	△6,444	△4,732
流動資産合計	3,749,580	3,790,883
固定資産		
有形固定資産	51,358	60,888
無形固定資産		
のれん	2,306,684	2,210,572
その他	145,282	119,750
無形固定資産合計	2,451,967	2,330,323
投資その他の資産		
繰延税金資産	94,769	133,937
その他	136,194	157,578
貸倒引当金	△3,471	△4,013
投資その他の資産合計	227,492	287,501
固定資産合計	2,730,817	2,678,713
資産合計	6,480,398	6,469,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,179	455,846
短期借入金	658,335	208,337
1年内返済予定の長期借入金	699,996	709,996
未払法人税等	125,769	166,350
賞与引当金	142,615	223,588
未払費用	502,788	512,196
その他	334,884	424,459
流動負債合計	2,795,568	2,700,774
固定負債		
長期借入金	1,159,180	1,074,182
その他	8,799	8,823
固定負債合計	1,167,979	1,083,005
負債合計	3,963,548	3,783,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,281,887	2,281,514
利益剰余金	467,596	621,300
自己株式	△794,420	△778,784
株主資本合計	2,516,850	2,685,817
純資産合計	2,516,850	2,685,817
負債純資産合計	6,480,398	6,469,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	5,836,620	6,344,993
売上原価	3,712,871	4,025,187
売上総利益	2,123,749	2,319,805
販売費及び一般管理費	1,911,222	1,981,010
営業利益	212,526	338,795
営業外収益		
受取利息	31	38
受取保険金	2,212	3,155
助成金収入	1,378	600
固定資産売却益	-	2,396
その他	1,845	1,129
営業外収益合計	5,467	7,319
営業外費用		
支払利息	8,268	6,816
損害賠償金	27,365	-
固定資産除却損	-	5,924
その他	2,481	237
営業外費用合計	38,114	12,978
経常利益	179,878	333,136
税金等調整前四半期純利益	179,878	333,136
法人税、住民税及び事業税	113,706	191,107
法人税等調整額	3,683	△39,167
法人税等合計	117,389	151,939
四半期純利益	62,489	181,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,489	181,196

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	62,489	181,196
四半期包括利益	62,489	181,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,489	181,196
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	179,878	333,136
減価償却費	27,804	28,973
のれん償却額	96,111	96,111
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,664	△1,170
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,799	80,973
受取利息及び受取配当金	△31	△38
支払利息	8,268	6,816
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△2,396
売上債権の増減額 (△は増加)	△114,047	△352,129
棚卸資産の増減額 (△は増加)	59,720	△1,954
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32,169	124,666
固定資産除却損	-	5,924
未払消費税等の増減額 (△は減少)	71,825	17,922
その他	△33,660	18,950
小計	299,164	355,787
利息及び配当金の受取額	31	38
利息の支払額	△8,281	△6,819
法人税等の還付額	49,618	1,679
法人税等の支払額	△14,946	△120,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	325,586	230,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,050	△16,508
有形固定資産の売却による収入	-	3,940
無形固定資産の取得による支出	△4,385	△1,390
その他	5,473	782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,962	△13,175
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	△449,998
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△374,998	△374,998
自己株式の取得による支出	△794,420	-
配当金の支払額	△32,172	△27,492
リース債務の返済による支出	△366	△371
自己株式の売却による収入	-	900
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,500	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△797,457	△551,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△473,833	△334,606
現金及び現金同等物の期首残高	2,600,363	1,892,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,126,530	1,557,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	2,144,206
住環境向け建築サービス	1,390,576
商環境向け建築サービス	1,911,117
商材販売	310,113
抗ウイルス抗菌サービス	80,606
顧客との契約から生じる収益	5,836,620
その他の収益	—
外部顧客への売上高	5,836,620

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	2,227,173
住環境向け建築サービス	1,511,339
商環境向け建築サービス	2,079,791
商材販売	309,257
抗ウイルス抗菌サービス	217,430
顧客との契約から生じる収益	6,344,993
その他の収益	—
外部顧客への売上高	6,344,993